

交通情報プラットフォームの背景及び経緯

背景

ASEAN各国の運輸政策立案に関わる行政官から、ASEAN諸国と日本の交通、ロジスティクスに関する統計データを相互的、網羅的に検索・閲覧できる仕組みが望まれていた。

交通情報プラットフォーム

- ①日ASEANの交通連携のもと、有効な政策立案等のためにASEAN各国の交通統計データを共有化。
- ②各プロジェクトの内容・進捗状況等、日ASEANの交通連携に関する取り組み情報を発信。

活動(経緯)

1. 2005年3月、「AJTP情報センター(ウェブサイト)」を開設。
2. 2008年2月、交通統計データの共通様式を作成。AJTP情報センターに掲載。
3. 2008年3月、交通統計データ整備が遅れているラオス、11月、ミャンマー及びカンボジアにおいてワークショップを開催。共通様式へ基礎的交通統計データを入力する研修を実施。2010年1月、ベトナムにおいて同ワークショップを実施予定。

効果的・効率的運用

日ASEAN交通統計データベースガイドライン

日本とASEANが協力して交通統計データベース等の作成・運用に関するガイドラインを策定

- 共通様式へのデータ入力・更新及びモニタリング
- データの正確性・有効性の確保及びセキュリティ対策
- 人材育成等協力体制